

多治見市

来春移転の中京院大応援 企業後援会設立へ準備会



2027年4月に多治見市笠原町へ移転予定の中京学院大を応援する企業後援会の設立に向け、準備会が発足した。準備会の会長には東濃信用金庫の加知康之理事長が就き、8月に後援会の正式発足を目指す。

企業後援会は、産学連携による人材育成、地元定着の促進を目的に設立し、大学開催のイベントへの支援や会員企業と学生の情報交換会などを行う予定。会員

中京学院大企業後援会の立ち上げに向けて開かれた準備会
＝多治見市役所

数は企業100社と個人200人以上を目標としている。

初会合は多治見市役所で開かれ、発起人の企業、団体の代表など6人のほか、高木貴行多治見市長や大学関係者ら計11人が出席。副会長には小栗大樹さん(日吉ハイランド理事長)と酒

井健吉さん(マルエス産業社長)を選出した。加知会長は「地域の活性化につながるよう尽力したい」と述べた。

今後は5月まで毎月準備会を開き、役員や会則案を整備するとともに、会員募集を進める。

(田中純太郎)